

180

=

二十四番歌

女三業

調本



五

永淳 年月

凡例

近年歩流益々繁

て聖人の跡を志す

北園の四の園東北四

巡拜の業多し

南都乃本極多

林舎をふり

の園を乃江を志す

越後新島田より

信濃路を往く

或は下野乃宇津の

昔人多く而地少人稀
あり南部を指するは北四
葉才十畝是信州坊の遺
跡にして祖師身人自乍四
十二才乃浮木縁に美草の
光明宗に美草の御教も
外に道の宝也敷くあり
是とお禮せざるは錢金あり
あり平北園より實束とあり
唯路香細よきして末指の
者乃便りせん

越後國新長田の奥にあり
約五里あり本指ありと行程
八十七里也下あり五里あり
松崎とありそは仙臺と
五十一里仙臺よりそは相倉
蓮性寺とあり四下下御倉
より常陸よりそは入寺
海より九下あり越後新
長田よりそは入寺とあり
百九十二年有るあり
河の越後芝田よりそは

と二十ニリと云ふる高田より
信法路を經く宇はぶと
凡百五里余宇はぶと今法
願入寺と二十ニリ廿四丁郡金田
四十九里有きと云ふ南紀と
と云ふるはなほうしん
るる所は南紀と云ふ方
四丁り程をうへ南部とあり
と云ふ出羽乃南紀の地系又
日本才として南紀及び北紀乃
景地と云ふ新紀と云ふる

南紀より仙臺との海をへ
茶をふし不自由加はは下
もかくる幅廣く仙臺と云ふ
と云ふ所は東海にも及ぬ
百餘里と云ふ仙臺より棚倉迄
矢吹と云ふは仙臺と云ふ茶や
もかくる東海道よかつるは
美江戸の方を巡ねく棚
倉もと云ふは又と云ふる
越後乃方へ行く所と云ふ
もかくる道は

たどあり

北園海道の馬住り宿とて

北園海道の馬住り宿とて

とも治所をさむのりうら

其下は海ありて馬の上り

△中分る方へては往る馬

乃、くろりの角出でんよふたの
完わりのまよりある旨の汁で
玉らこの者のわざがなる宜し
二、すまじの箱の竹の皮を剥き
こしぬき、さうして火を掛け
竹の口へ、さし、其の汁を
火をいれ、煮、たれ、すまじ
より、すまじ、煮、たれ、すまじ
の汁を、いれ、火を、掛け
かん位、なるまで、煮、たれ、火
は、く、明、と、すまじ、すまじ

おれたも、右の竹の皮を、剥き、
緒、向、竹、の、筒、の、内、より、煮、たれ、
は、く、こ、し、つ、る、本、其、汁、を、も
は、火、を、い、れ、煮、た、れ、す、ま、じ、
右の家、の、村、の、中、より、煮、た、れ、
家、も、有、又、五、六、の、煎、り、の、汁、
火、を、煮、し、入、指、同、位、の、煎、り、の
火、の、汁、を、い、れ、

一、同、煮、二十、四、葉、を、煮、た、れ、
火、踏、え、板、を、い、れ、煮、た、れ、
火、踏、え、其、汁、を、い、れ、

聞ても色あるの替て
行く所の損徳の
もいふも煩と
道法は損あり
大僧根を下も
越へ何と入寺も
かみ先に行くに悪
若江の方より
己行と違ふ
金持新様も
と越えり寺是又
どのの悪を
をいふ所
下野國高田寺
行方か
行むも
損徳有
高田行
是も損
高田
と教

と越えり寺是又
どのの悪を
をいふ所
下野國高田寺
行方か
行むも
損徳有
高田行
是も損
高田
と教

大さよ頂のりる田はく下田か
るが道く下由ハ下事幸ら
結城の初さあり一里下初て
一里下よとがしるん

北葦江戸の末流し七江
の水路別奥の乙相念
ら日光と道法同の

二京初より越前に出北國路と
より出羽國より奥分南都
と経同は松屋同棚念を
巡り下野常陸上総下総入

北葦葦の跡残らる康
かんどり日光山ととり江戸に
出るはと道法九五百と積置
十八下わり

京都堅町の事

寺は幸致至富柳塚町

わい乃東ノ東島丸

あぢ家衣新町父の老也

西乃小川小油堀川

宝物 沖田の末孫松乃孫陸

沖田の西の子甲十一文の自後沖田の

西の墓乃のありありありあり

京の俊宗を將二里 雲母坂の村

比叡山

根守中堂 西の谷十丁

正勤寺 西の谷二条の坊に沖田の

自注の建七寸余の法乃の住持

△坂本 沖の者 茶やのり

山王社殿乃社をまゐり

△金谷 雄子村

美野村 西の入り口

西の谷有息公作千騎の安通五郎

小野村

△櫻 沖の者

中濱村 荒川村

船路村

△本戸 沖の者

大物念仏の寺 西流

上人西身成宣坊周奉の宝地寺

比良村 比良天林 東小松村

△小松 沖の者

打方一村 名不之

甚深 寂勝寺 蓮峰寺四跡之東流
中堂五間六尺寸

鶉川村 白髮の神社者

甲八鮮村 行基作石佛
二十五鮮者

二リ 大溝 城主 分於年人正夜

長田村 加茂村 西之村

わし川 名不取後

三リ 河原市 泊有

南市村 今市村

一リ 今津 泊有 貝津(三リ)取ても
仍仕立和らる人

傾家村 深清水村

新保村 沃村

二リ 貝津 泊有

小荒井村 ともや村

家乃上村 又乃之村

千原村 園境村 是地
之記

三リ 山中 泊有
城跡

丸乃方 菱經 笠かけ 松あり

荒血山 古石あり 山開 山頂 山
越 橋あり あり 山 山 山 山
山 山 山 山 山 山 山 山

一リ 馬口 泊あり

逃分 茶壺者

△^一曳田 ゆり 沙り、と江ふりり、
長淡、ゆるり

一乃信村

沙り

△^一道ノ口

△^一敷シ笑ガ

四家年一城あり大深之
世安町あり泊あり

△^一氣比社 けひのやしろ 本國七ヶ園の惣社

△^二徑曲村 けいまがり 茶壺とて知らり

△^二橋原 はしはら 池あり茶壺あり

△^十新保 しんぼ 口の

本乃同保者 ほんのどうぼ者 以てる人家



三ツ谷

池や茶やあり
越前入り茶やあり

新五村 かつる村

今も古くありはけり
新進方者本乃り之ナリ

今ノ文 然る富海者

九方山皆
ふふれあり

湯尾村 練子茶やありあり
何れも疵疾者あり

湯尾 池や茶やあり

新波 川あり

粟乃これ村 然る茶やあり

服部 池や茶やあり

今ノ宿 川あり

松茂村 茶やありありあり

府中 町家多し抱所を
池あり

柳原村 然る茶やあり

白鬼女川 川あり

上越江村 是れハ一茶入
後越村

照津寺 越前四ノ寺あり

越江 城之同於若後宮あり

誠照寺 越前山門院あり

寺一先家福と巡あり

結江出たがまに石橋有る云々
掛内四段の石地蔵の寺也

永春

油者茶やあり

寺の羽の所

本吉山
万法寺

本寺と同の寺方汁也縁之
寺の北に寺の本條あり

淡水

茶全あり

今市村 八梅

茶や有

花堂村

茶全有

△福井

城下町の内一里を
伯あり

専照寺

寺の門後本寺本
寺十二の石四面

楠宗賢

寺の上人の流刑
あり

寺形は乃室物なりくあり
而よりそ形あり

東平坊

本寺十九の四方
寺丸柱

美宗寺

西流
本寺九間三十一

和山本寺

西流
本寺十間三十九

西沙坊

本寺九間四方

牛鼻山自宗寺

西流
本寺八の四方

右橋への之園、よりてもあり
福井より之園、五里

之園がより橋、松路二里半
地の二里後井、右橋、八里あり

之園、松路の町から九の
ありての不出あり、八の

陸地の五リあるあり

後久村 いさごが加賀國 白山の南

△^リ船橋 泊有 入口は船橋の南 舟八艘あり

船橋の南に程行てなる方知の中
地ありとす之は四方不遠なる内
杯柱本有是の果元之と二月下旬
より人越後山下向乃内山里移家
長者といふ者乃方よと日江運至の
是時其菓子こそ方ついでに楊枝と
をあげてすといふ事ありしは未だ
よかき事也此程程根葉まじりて
のよきといふは秋入りしは福系
生也といふ事ありしは後田細と
て其氏たるすし物よりなること
ありといふ事あり

△^リ長湯 ゆり

五ヶん村 葉名有

△^リ金津 葉名有

新庄 葉名有

久末 照嚴寺

是如上席田は宝曆年中向村は取川地

坂口村 葉名有

蓮ヶ浦 舟入あり一と一

△^リ細呂本 舟名有 柏井乃実所あり
越中か加賀の境あり

舟名有

舟名有

△^リ長崎 舟名有 舟乃海もなるゆあり

東寺坊 舟名有

宝物堂 舟名有 舟名有
舟名有の上乃ふし舟名有
舟名有の舟名有

吉之橋



西沙坊

立死茶屋

茶や八幡橋を伝ふ

系し

立死

大聖子

西山田村是の御朱のた、入は村

道師乃此子孫武無婚さふ者有
宝物いろく有道師は金を孫
あり大聖子と出くが道師は

行たの方さよとむいれ有坊
なあり十丁身入西田のい脈と
云ぬ出つる孫、行西田ありても

出そはえとせとくあり西田、
一り西田あり
いりたし、一里

三ツカガ
△カガ 泊り

修生寺 道場

同山より入る石より下りて此の道と
をたふさうとてつとて今あり

おろし村

二ツ
△月津

うら村 今泉村

二ツ
△小松

本尊寺

東流院家本を九
西の四つやまを

一ツ
△寺井

泊り

△おと 泊り

中ノ川水浄の川下流海流を
重宿波瀬に有本殿を泊り

△水崎

泊り

△柏野

泊り

右三本張十回づ馬つぎ
ろくはあしのかみ入る柏野
はひあしあしきくはか
不承の物

△松任

坂本山本極意

院家東流
山を九回四方

布市村

是よりなる両
若き寺一ツ

由村より空に二ツ
をたふさうとてつとて今あり

△金沢

かみ及内城下を
内一り余り

大とん村 番金あり

た川 紅いし 穉も者

△小 秋 三ツ葉
紅いし 穉も者
穉も者あり

安長坊進方 米あり

富山入 土と向し

又 田舎

神通川

紅いし 穉も者

北園一書乃ふくま川之

紅いし 穉も者

△富山 三ツ葉

穉も者あり

下本所

鑑定山 穉も者

を六回す

新井山 穉も者

穉も者あり

梅江 穉も者

穉も者あり

鑑定山 穉も者

穉も者あり

新庄 穉も者

常願寺川 穉も者

水橋村 穉も者

△滑川 三ツ葉

穉も者

砂山村

子つと川

穉も者あり

△魚津 三ツ葉

穉も者あり

魚はよりなる 穉も者あり

石碑あり 穉も者あり

濱田村

高純山曝福る

二丁葉敷思うり
別と云そ七回やぬ

かみ川 ぶせ川

つらきも
からほり

三日市 泊りあり

徳法寺

三本松川跡にせ同は
腰掛石 舟本門あり

浄承寺 小堂五間ある

二日市 十町身入へ又二日市
ゆりこ二日市 小橋海をを行こり
徑邊 高松川 舟津敷多し 六月
ゆりおる といふ 一 表上 世に

浦山 泊りあり

橋乃ねり 橋乃ねり 橋乃ねり

相ふ村 茶屋あり

船見 泊りあり

尾川 舟あり

とあり 泊りあり

さふ村 冥ふのふあり

越中 坂好乃 珠え
さふ川

市振

親あふ 子あふ せ海きさり
浪きさる 所あり 舟あり

外浪 舟あり

外浪 舟あり

元就大寺 末流

田海村 西蓮 末流

あま川 かろ海

△金海 海方

娘川 北川一乃

娘川海方の河にまほ海名依を傳せり
海も娘川にちりて海にまほ

△い かろ海

やま川 修あり

△飛 ちいし

早川 かろ海

徳生川 修あり

△松 ニリ

そ 修あり

△名立 ニリ

下名立と云ふ名立と云ふ名立と云ふ名立
今名立余男六百人余一人も名立た

錦浦 茶や

△あ ニリ

いふも未だ天地を震らふ名立の
海川にりする水はわつと名立押込
よ名立のふと名立のふと名立のふと
水立を押し流しあふむの切は
今名立五年又名立のふと名立

△長濱 越乃長濱とく
右にあり

安南の國方る 二七

五知如冬老 十二百七回
未白

鏡乃池 用山と人けは
山にふくまるとく

山自傳と山彫刻をう
まうる

御用山山紀 二十七
山本傳

善信金お 上人山居室乃
跡あり

大座り 赤岩 秘

△五知 茶金あり

山

光源寺 山を七回
山功之末流

祖師上人五多山遠五乃山四
室物聖人山自益乃山教

むらひまき山のづ
うし乃山

△中五

△高田 林京式部
山

笠原山本持寺 東流
山

山家八ヶ山
之方縁九人

津真寺 山
東流 院家

中戸山常敬寺 山
未流

山家ニ
山

東市坊

境内宝曆四
川城より下の

井波園瑞采る 本堂四面

二万餘石九尺下

後小松院勅所

此宗寺乃奉先子記

熱令川浦倉田安塚上方

大原 免平 住持坂須川村

二十四輩

後鳥院勅願所

板倉寺 寛院願教 ち修二十四あり

宝物

祖師取入御木像御自作
六字名号如信上人御宗

本寺より東寺号聖人山系祖師聖
人御頂骨山御免新川流判

五智園方寺より小丸山十日

堂首光寺 性宗寺の系

猪の先 住りる田より

か 善光寺より中須

し 中須から飯山より

く 小川 飯須川と書き

善光寺より越後須川より

十六の須川が村後より但

後次次は越後信濃の境線

後なる身元安葬所とたのび

十月の月名を御守り

今く須川より安原浦川
 やけの津原の所杖後とて
 さるるつら〜とて道〜

越後國を甲より信じてを
 ナル余の心も〜とて
 又津原の所を杖後とて
 沿西原の所を杖後とて
 沿西原の所を杖後とて

△荒井 ゆるがねのり

荒井坊 山寺上より

△松傍

△岡丸山

△二又

△関川

町をぐるり関川あり

△野尻

△柏原

けりより丘から山五リ

二山輩

枕石山願法寺

宝物

善光寺分身如来 聖徳李威徳松

祖師枕石序不像 序及八段自作

祖師越路序影 序續祖師給露坊

△牛乳

△あし町

△善光寺

二王門山本堂八分九寸有

四十八坊有天台宗の内十五坊書帯

堂照坊

釜字風城名号を人山系

を人山系ブー入

若きとより地味ましくニリホ

新集セリク

丹波鴻 二リ 志の井

丹波鴻 米鉦村八丁

一重山唯念寺

庚未也

西派園臺西佛坊

法眼寺を平山始テ平野と

地味か志の井、海

地味より更科狭地を二リ名

志の井 二リ

松代

志の井 二リ

柴

二リ

川田

綿内

二リ

布野

ふ乃川さ川ちくは川二つぬ

布野 二リ

長沼

西巖寺

南堀

長余寺

善光寺

善光寺

一り余

善光寺

若松本城下にかつら八塔あり

まろ
稲荷山 泊り

二リ
おろ 日

二リ
音研 日

二リ
あざ 日

二リ
わらう原 日

二リ
岡田 日

二リ
松本城下 日

木曾山長祿寺 未流

祖師越後國守五年在任乃其
旧跡二十四比車墮一義延房念位
俗名木曾茂基乃未孫貫如
甚如女上人行化乃靈瑞中古
越好より松本に後住と祖師
仲安重のつとこの本もふん
五子仁乃仲義其外寶物
多し

大室山正行寺 西流

祖師乃垂身仍く本より縁入
るる智の用基今ハ西本紀も
乃師坊あり祖師よりわん
たつ四子仁の西流あり
在松本より忌田へとも

保福寺跡あり

一リ
浦母

三リ
中々條

三河神社八幡宮の社

祖師並才徳宿願丹後也

源幸扶三河城或坊之

祖師ヨリ下されり

九字名号

十字名号

三方正面阿弥陀如来

此六字名号 浄土和漢の

教如聖人 師究

琢如聖人 日

日の丸此名号

親寧り聖人四十家御本傍

二俣の竹此所室知所くを

建曆えの未善の申の

此追及し比たより

一リ
坂本

二リ
戸倉古

松代家とありくへ

其地より越後を田にりての事と
今十六の余戸かしくいふにたより
余戸いふあんふく
高田、さかたけ

越後

高田

掛本武敏を懐成下
あし出

性宗寺

松本より流
室町参入高田死す

小丸山五年に退るの由記

いふ事堂の由記は衣笠山年

三十五才傍、勅、幼の山が表

掛、よまよま

於越後配一所笠鴉國府益之

承え丁卯年五月二の善信

右に色後乃上の方よ

多たや

為懐村

しとやろ

千日堂をさすをなす人米俵者也

降の宗世年と身淨とまふ事也

大曲

△今町

隼佐町くはせあり

溪川

舟橋

△黒井

泊あり

小舟渡村 ともぞら村

△行町

くと村 かんこ村

栗山寺川

佐有

上下濱 のふと濱

△柿橋

いふと寺泊、とより余加も
有柿橋、らむも

淨長寺

西流の傍
寺を九つ八間

扇谷山淨福寺

東流の傍
寶山越の名号
浄の傍

聖金寺

神傍の
わし乃かまやう

八ヶ岳

ゆるり

越後乃國所

栄山坂
まぶ川

龜より坂

作茶の
か作

風鶴村

近江川村

わさ川
歩坂

三
△
練波

ゆるり

いさ川

名あり

一
△
柏谷

松平越中
能く富く

わさ川村

わさ川

二
△
わさ瀨

ゆるり
ゆるり

△
宮川

ゆるり

△
推谷

ゆるり
堀入

大橋村

大村
散在

京ど川

お世川
香湯

△石地 ニリ 終り込ん

△出雲橋 ニリ 終り込ん

おき新田 水田村

何とも後會て往きとせよ
わんた砂地續くと身と行

△黒田 ニリ 沖り者

大和四村

△寺泊 ニリ 終り完結せ

弘和に中る海ととリ往行は
終りて相より川よりと云々

へ更くる門よりあるは乃傍り
名所秘録に於て云々

終りて寺泊を乃許(ゆ)りて終り
終りて寺泊を乃許(ゆ)りて終り

吉田村

川和村 萩京村

△加茂 ニリ 沖りあり

△二条 ニリ 越ゆる信濃海をり
終りて寺泊を乃許(ゆ)りて終り

東多坊 四方

加茂、終りて、物は、村、火、乃、あり
不有する乃とらう

△田上 伊予

田上入は小坂と城てか新法よとて
十町あり入つたが稲田の地を境あり
をあつたが地ありありあり
湯川村十四五丁約く小坂と城
を乃湯子出井水二不のりも中
池漏り

右津村

△新津 是田馬つと

がくやん村

地りあるありあり
方ふへ

り村大七とつたやれの家火乃
あるありあり火はくくありとた
たるありあり

一里 兜鳴村

いつ房梅乃西四の屋前
梅乃木大木

△保田

是田海を又南の
金はつと行

孝貞寺

は左栗田四
本まする九

くろ林

保田より一里

二里 下条村

一云居信寺

西四
西四のり

北四筆才士墓

三里 高倉野村

北園山鳥野院西方寺

本寺十
二の八

ささけ乃西四の室四乃内八竹
保方竹者其よ路くく

津光寺 西流 本寺三十一回

美浄寺 事流 本寺七〇〇〇石

浦永 金波山浄光寺 西流 本寺七〇〇〇石

△大町 沼 浄光

△リ余 本 戸 石

△リ余 花 石

△リ余 松 石

△リ 右 丈 濱 石

△リ 左 丈 濱 石

カチ川 歩

△リ余 三 枚 橋 石

二 本 枚 村

さく本村

因西あり畠村右のまのま

△ニリ 新 後 田 溝口

新 江 山 龍 明 寺 余

△リ 加 治 サセリ

たてを村 金山村

△新 浮 入海之家於此多可なり
いふに松を船より行

津光寺 西流
寺をさるる十四

美浄寺 東流
寺をさるる二六〇

△金波山浄光寺 西流
寺をさるる二六〇

△沼 堂 西流

△木 戸 西流

△花 牛 西流

△松 橋 西流

△石 渡 西流

△老 渡 西流

△三 枝 西流

二本枝村

さく木村

因ありの畠村をさるるものをよ
り入るる所を収録す

△新 後 田 西流

△新 江 山 龍 明 寺 西流
寺をさるる二六〇

芝田より南にあり

△加 治 西流

たてを村 金山村

△中条 流る者

黒川 流る者

△三好川 流る者

さう田村 流る者 栗橋川 大川

△平林

△村上 内蔵紀伊守及部下 流る者

宮下川 流る者

△猿沢

△塩乃町 流る者

不動川 流る者

△不動 流る者

平河川 流る者

△大沢 流る者

△黒川 流る者 中村とよ

△荒川 流る者 比古子中

△中沢 流る者 と黒川 流る者

△大沢 流る者 水と流る者

△おろし 流る者 田村 流る者

秋後者 流る者

△尾田 流る者

△田中 流る者 勝不和云流る者

△木のほのぼの

△大川 流る者

△梅原川

△荒の園 流る者

△猪代 流る者

△三津 流る者

△坂本 流る者

△香海 流る者

△田中

△三津 流る者

△天山 流る者

下流とよみなる砂山のあり海まで、
ゆりゆりなる地へ

△濱中 流る者

いふも流るる無川家あり海まで
新坂田川一り有船流り又流る

△坂田

人家入り新も有る

いふゆりゆり無川家あり海まで
此も二一岩せりバウするゆりゆり
流る川ハ子流るを去る流る
制り有る

△小みさ川 流る者

いふ種師の流るるわきを流るる
うれて有るゆりゆり水とを流るる

△吹浦 流る者

名流村 柿の浦村

△女座 流る者

大津坂を流るるいふ山の海まで
弘法大師切身を人不動を流る

△小砂川 流る者

国村
むやく入国を流る

△^{ニリ}本庄

城下

ニリ
此庄在る入ル然在平庄ノ南勢
岳岳西の社家も有て村方まるとは

岩屋村 ころごん河

ニリ
中毛もり村

ニリ
わさ沢村 ころごん河

ニリ
萱ヶ沢村 口の口

ニリ
ふと越とていふは
又中と越ふ田村

△^{ニリ}水乃目

水乃目河にけりし門を越
秋田乃実あるふ形なり
考ゆと改高人考ゆよ入
投後と云

△塩越 海濱

名は浮名不終ある八十八里半
久保のりこも坪はる未だこれ渡
りてはくはつ切
りてはる

△こ乃浦 海濱

長門村

△せり田 海濱

むすび門 くらぬり

鈴村

△平沢

いんむす村極疎の合はあ方と名

△本庄 海濱

は本庄をへんは本庄とあぬ
是、本庄の村も有て村方とあぬ

岩倉村 くらぬり

中もむり村

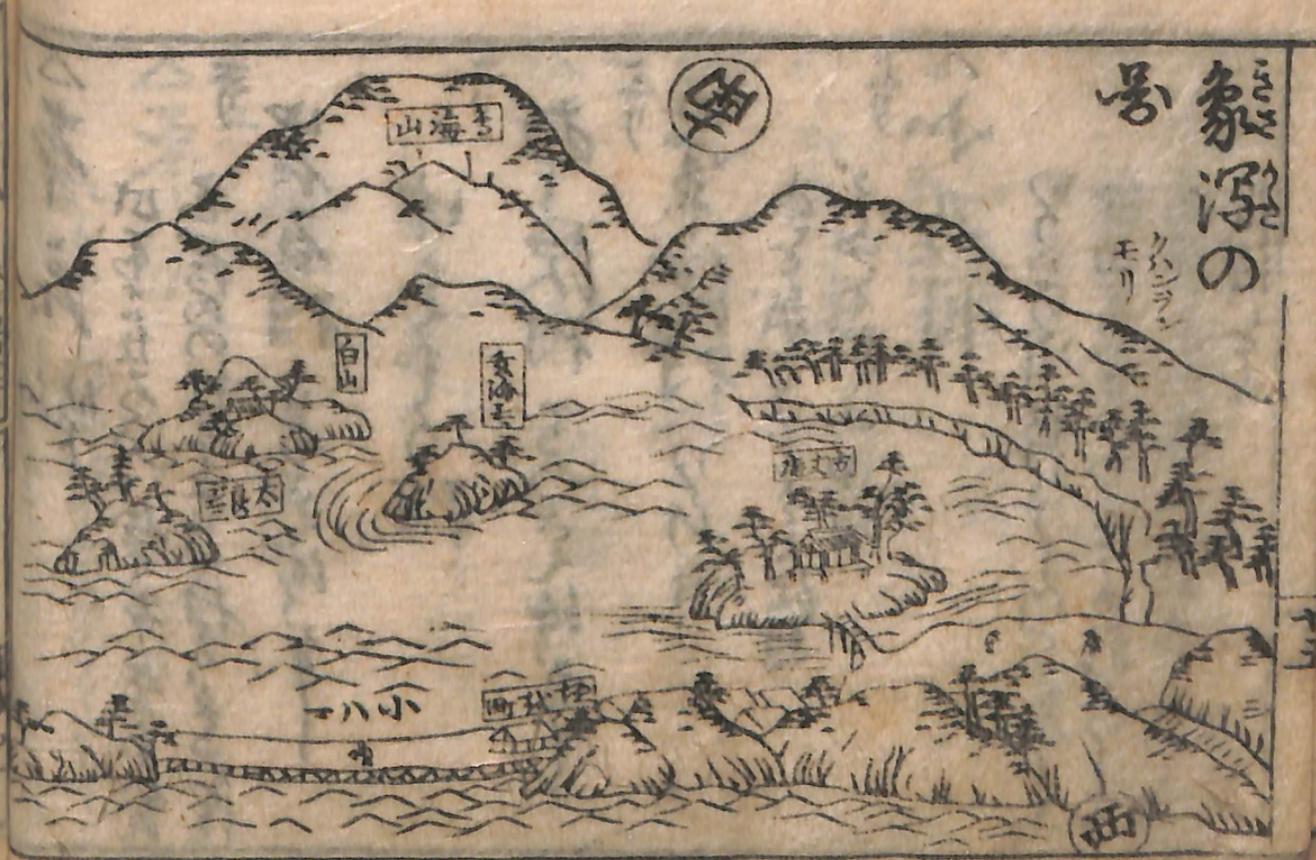
わし沢村 くらぬり

芝堂、沢村 くらぬり

ふと越とくはくはくは
くはと越とくはくはくは

△小乃目

りてはるりぬりてはるりぬり
秋田の里あきこ形のりぬり
考ゆと改高人考ゆよへん
投後とあ



工人の自作の木俵あり

△^ニ素直町村 見赤村

十日市村

△^四郡山 御寺

本誓寺御下 輪蓋 永光寺

室西の岡の山系阿沙路 五振子二重の石佛陀仏

下町 二日町 日詰町

河まきも類ふり用りかた ころまきて者

橋町村 ワトト名

大倉村 小川 御寺

△^ニ石どや

八幡村 小瀬川 岩俵

△^四花巻 御寺御下

是の寺々々南の江戸に建てる御 寺の石のまきこも北の御寺

御つる村 日詰町の御寺の 御代りの御寺

白かじ村 十二重岡村

千の沢尻村 忍川 御寺

△^三鬼柳 御寺

是の寺乃同木のわりこめて 御寺

さいり町 御寺の御寺

子持村 三ヶ尻尾村

△今より磯

いさ川 ねり

△水沢

△前沢

二日程行て衣川村たこの名也
有衣川之宿有之館乃城也
たよ有赤土平の城江家の之宿也
此乃宿門之宿也る名也

中尊寺 三ヶ尻尾

赤土社

三ヶ尻尾

△山乃岡

い玉井川 土橋入す之間

一乃岡所 仙臺家長城下
田村左京右史友

これら野山人家

△有之

せ乃村 人たわむとむ

石乃を御村しつりり山奥
今も長次が四郎

△今成

△沢色

京野村

△山野

いづ井川

古橋又十二之間

一乃園所

仙臺家臣城下
田村左京右大夫

これより野山人家

ニリ

△有也

せ乃村

人取むきども
休あうし

石乃方を御村しつろ方公奥
今も実長次が御

ニリ
△今成

△沢色

京野村

一リナキ

△官野



松島
の
景
四
里
七
八
里

瑞岩寺

律宗 寺

松徳乃嶋、不砂石徳乃り
寺より松寺と名へて金徳と云
ふるなり

海上

松島ヶ塩、海上二里あり
陸体も名を海、海上徳、
うらゝのり大徳寺なり

塩の取

此の町へ塩あり

町乃田上陸よりあり塩、徳寺あり
此の方へ名、松乃お徳と名あり

市川村

いあよりつた乃石をくちを名
とらゝのりなり

今市村 茶やあり

案内村 以り

湯とゆり名、徳あり、寺あり
ゆり乃り、ゆり村あり、松徳寺あり
寺と名あり、徳寺あり、ゆり乃り、
ゆり乃り、ゆり乃り、ゆり乃り、
ゆり乃り、ゆり乃り、ゆり乃り、

二丁四葉才士

株念寺 西流

仙臺、大石小徳と名あり
本町あり

四丁
△仙臺

仙臺、陸直寺あり、徳下

仙臺乃長、三丁町の徳寺あり
若葉、仙臺、徳寺あり、徳寺あり

汗丸川

徳西あり

△長町

仙臺乃り、徳寺あり

徳寺あり、徳寺あり、徳寺あり、
徳寺あり、徳寺あり、徳寺あり、
徳寺あり、徳寺あり、徳寺あり、

三十二
菰訪町 足野町

名取川 云傍 百七の宮

あさくさ川をたよるく
やぐ

△中田

は茶田ニリ名取村並に村並に
神社の祖神社あり

△増田 仙臺家伝地ト

宿くろがまに竹くぬ神社有
西平たのむらむら

△榎本

△舟をぎぬ

△大川原

△今まう洲

△宮町

みずく川と傍ニツ
白ふ川と傍

△白石 仙臺は家伝
行合小すく平下

△さい川

くろり坂 ぬふすこー
あり

△越川 仙臺の田をわくま枝
はふくそよ

下田もの愛 ぬふあり

△貝田

そこの町は伊まの大本をぬぬあり
五里十里むらの平田の下にあり

△^{一リ}友田

△^{一リ}こころ子 ととざり紙あり

長谷村 茶や

すまがみ川 歩道

△^{一リ}濃乃上

いかに金村 茶や

はあしらふり村とてすうと
ちふーのやうな川と紙あり

ふりふとやとあり石太と
一石こけり紙あり

△^{二リ}福嶋

康善寺 西流

二十四孝介上人の身子
明後坊同寺

△^{一リ}根子町 紙あり

△^{二リ}若宮 紙あり

△^{一リ}八丁目 紙あり

△^{二リ}三本柳

せい所村 紙あり 西谷村

八軒茶屋

△^{二リ}三本松 城主丹羽若狭守

まうぜん茶屋

△^{一リ}枚田 紙あり

△^{一リホ}とや宮 終るや入ゆり

△^{一リホ}とる金

とる金より先く宿へくるは日ま
ほくと宿づく細金

狭くの新田 茶金あり

浅く山 たりんぼりぬ
一平ありをより

△^{一リ}日和田 沖き

△^{五三}福原 けり

△^{十ヶ}郡山 終る宿は母あり
要りより浅き流あり

△^{十ヶ}小原田 是より平比ゆり

△^{十ヶ}日出り山 沖き

△^{一リホ}さく川 沖き

△^{一リホ}すう川 終る宿は母あり

△^{一リホ}笠名

△^{一リホ}久来石

△^{一リホ}久吹 夫吹の棚金あり
うりあり

夫吹のせきより細新田得たり入
系乃をたつきて系と下

△^{一リホ}中畑村 棚金のもの終る

△^{一リホ}系田村 けり

△^{一リホ}かほり子村 けり

△^{一リホ}櫻村 けり 棚金あり

くふ津村 川者歩流り

大川 船渡り

△丈毛 白川から流る

野平村

△鳥山 大久保山城より城下

無願寺 舟十二丁敷東流

宝如いらくあり

中川 船渡り

大沢村 甲斐川に流る

就子村 舟十二丁敷のこり

照願寺 舟十二丁敷のこり

善徳寺 舟十二丁敷のこり

大岩村 舟十二丁敷のこり

幸田村 中居村

長々村

大なるひ村

南守村 舟十二丁敷のこり

野口村 舟十二丁敷のこり

すげ又村 舟十二丁敷のこり

大...
石沃村

常弘寺

東流

石沃の...
の法と誠不動地と

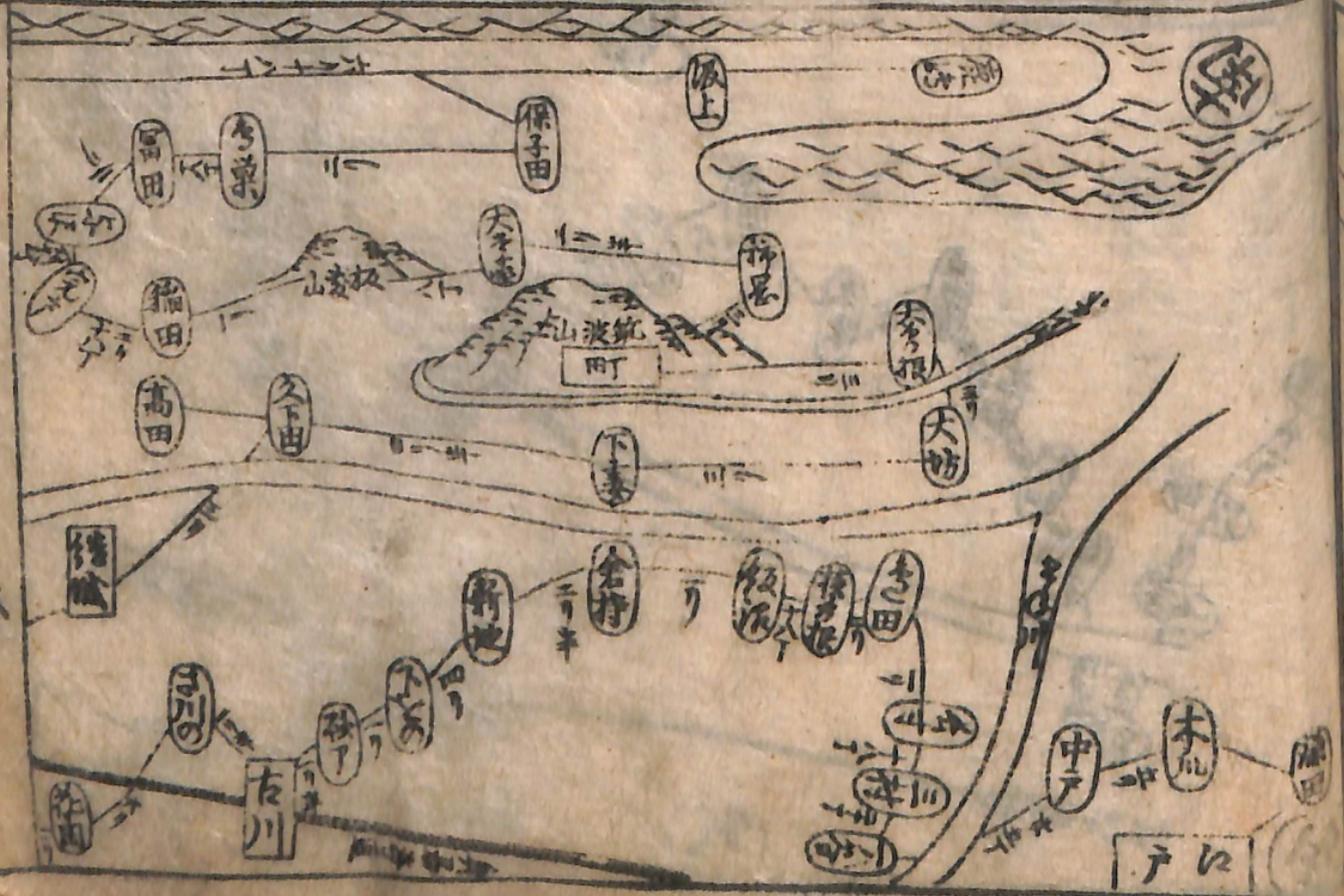
野上 本泉寺

唯園小房用基

東蓮寺村

東蓮寺

東蓮寺村の大門村の...
あり大門村の久米村



大...
石沢村

常弘寺

北四...
東流

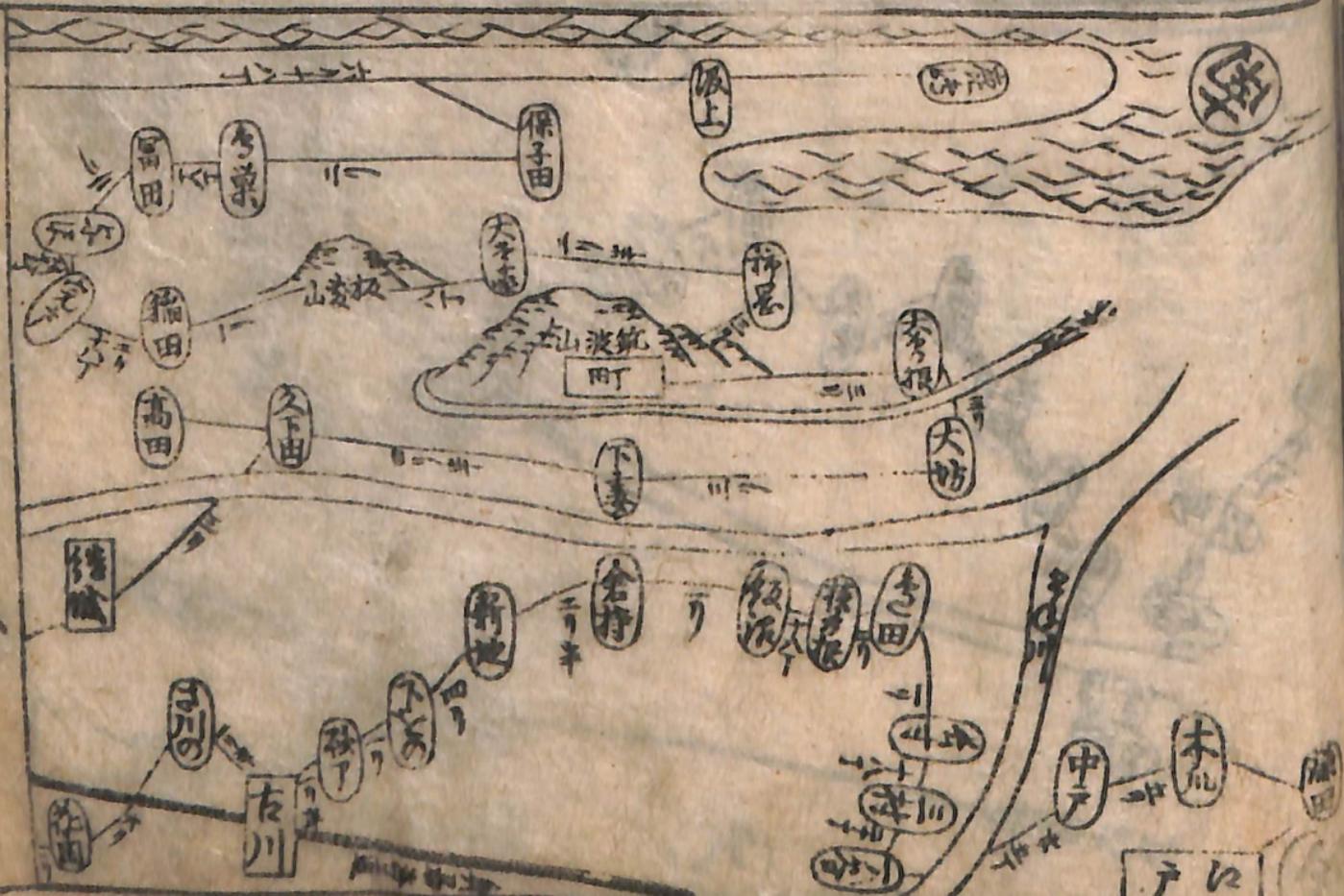
石沢より...
の...
と...

野上
本家寺
北四...
西流

東蓮寺村

東蓮寺
西流

あり大門村より久米村へ



久米村

願入寺

水戸願入寺乃
川の所

大里村

海へいなりわらふ
と系、わらふ

天神村

久米より

谷川原村

才廿四

西光寺

才廿五
才廿六
才廿七

川合村

才十八

枕石寺

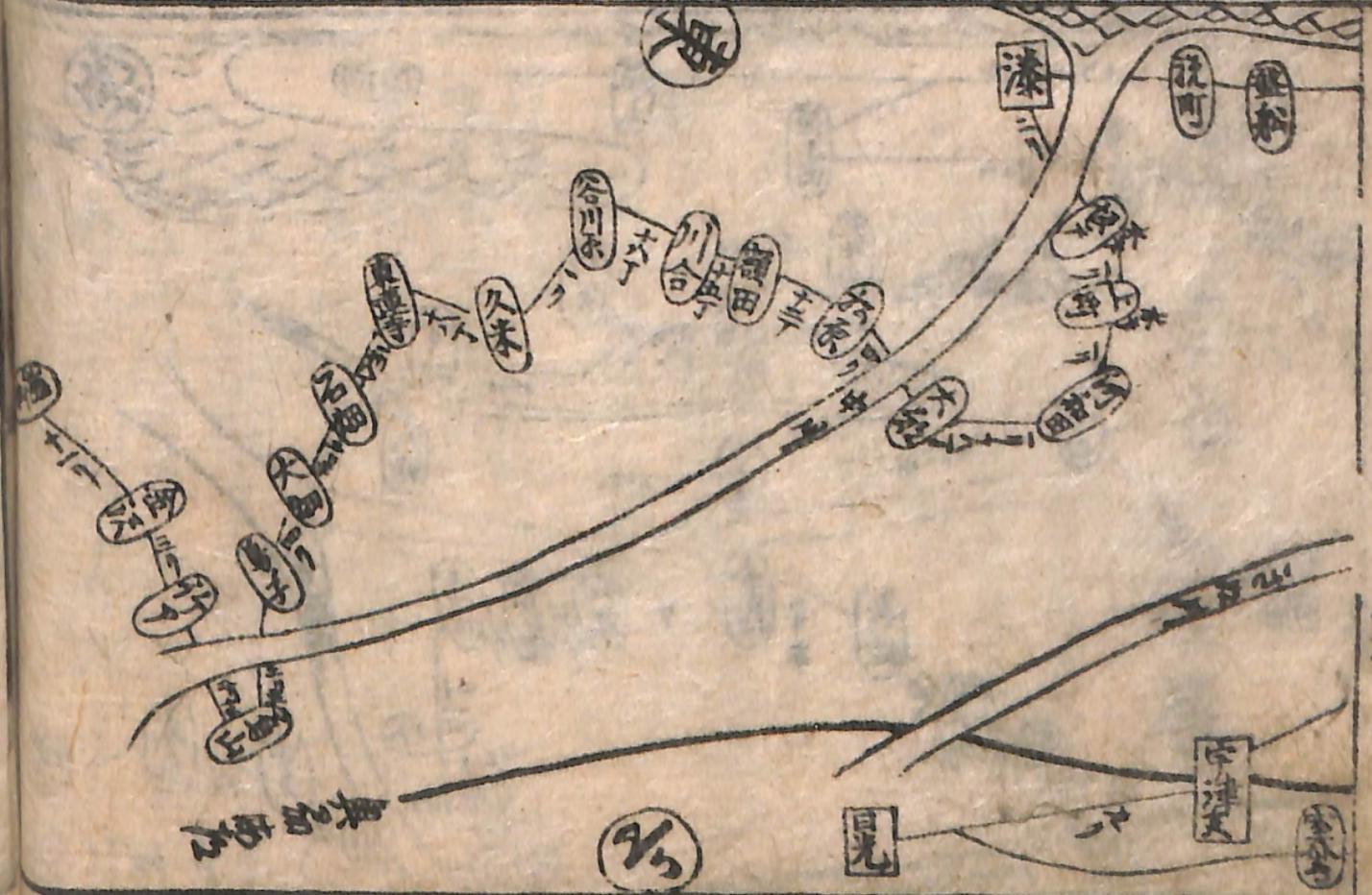
才十九
才二十
才二十一

額田川

才二十

額田村

和わ



久米村

願入寺

水戸願入寺の
カケ

大里村

海へいたわりの
と系、わ

天神村

久米より

谷川原村

才廿四

西光寺

才廿五才廿六
才廿七

川合村

才十八

枕石寺

才十九
才廿

くど川

才十八

額田村

私わ

才十
阿波陀寺 才十四
寺を七

才十
松原村

才十九
上宮寺 西流 才十九

山依明法坊開基

才十九
才十九

水

後登村 中から村

わが山村

才十
大船村

美佛寺 平を舟乃道
北四集の介

才十
河田村

報仏寺 平を舟乃道
まの右の

才十
水産上町

信願寺 西流 本を七

才十
同下町

長重寺 東流内原 本を七

宝物之船借某乃経傳を人
山平子長貝水戸孫うの山寺
を連をた山新日山

才十
湊 水戸に船舟入里

才十
津光寺 西流 本を十

才十
船多村 町を十

願入寺

此寺然 本末六十一寺

寺殿之面在法を十八の里方 辛卯年

聖祖御の末年一役町宮舎を といふ者をあてゆり

破乃町

家数多し 海くさ

ニリ

ふつ村

麻竹もる 純

ふさ村

茶倉あり

ニリ

とみ山村

此村より麻竹、 くら地六リ

いかにま子麻竹、くら地と船橋の 逃方ありくらごと物ととみ吸上、 船橋はまあまの保子田行

保子田村

そらゆまてり同金荒野卒は

いかに麻竹、くら入江より麻竹を 上と船橋セリあり東南風下、 くらバ船を用陸地と物

麻嶋

明神御本社小向

粟石本社を衣己三と一ミりり 千後まて人といふ人等

御子洗

本社を蜜印ニニ

湯理塚

本社社後よりあり 又井乃りる傷も有

七井

御子洗 文下あり 三ツの ころよとやゆす

庚桑

ま言家

宝物麻嶋の神乃由縁赤を 子杖つとて経へ上人御子 湯理塚いかに湯出乃り 岩坊あり

二ノリ 行金村 田舎の村

六ノリ 寺縁村

小岩村 上野の村

上野村 小泉村

三ノリ 東をたて、西をうへ

完戸

北をむく、南をうへ

才九ノ長

唯心寺 東流

一ノ八ノ

笠之間

城主野野原守元後
城ハ山ノ上ニあり

二ノリ 稲田

聖人ノ子ト云フ
地ナリ

西念寺

東流 余間

藤原の神カウケウカウカ井ノ
西ニカケタノ方ニあり井ノ
ガクノ水産極ノ水ノ寺ノ進
聖人ノ子ト云フ地ナリ
ニノ八ノ

三ノリ 坂敷山

稲田ノ寺ノ水ノ加ニノ水ノ
ハカニノ寺ノ水ノ加ニノ水ノ
後ノ水ノ寺ノ水ノ加ニノ水ノ

大子寺 入り石ノ寺

大坊村 山ノ方ニあり

二ノリ 柿屋村

九ノノ寺

東流

麻生神社の神倉の上より水井戸
あり分た乃方あり井戸
がら石水産極まり水舟進
聖人出杖移日ありあり
こゝに粟石あり
玉目宮 山麓ありあり山麓
玉目宮城ありあり

二
坂敷山

稲田合中身初加さる乃を
初又十丁後初乃稲田合中
後乃大木宮ありありあり

分
大子堂入り石得者

大坊村 山乃ありあり
石ありあり

三
柿屋村

九
如來寺 山麓ありあり
東流

聖人其向也然亦自筆
其意乃其衣の切にたりし
タリ然しとて一ふらるもの故
とてんそまき人ぬくことあるん
聖人沖子
まふいろく

十一 塚村

ふと越余りて故と下りて

二塚 塚波町

二塚 塚波町

結さ者多し
親善をのそと止

山波山 男辨持現

女辨持現 わざとく持現

小系母持現 綿村持現

女小系持現乃上り坂と登
男小系持現乃上り坂と登

小系乃川の男辨持現坂乃
田不動寺乃石仏あり
あそとふらまわりのれを
と系乃川といふ

中禅寺 親善堂
やくしを

右ちく持現とぬくして又後坂町
下はふと上り下り田よりある

小條 町名

十二 大曾根村

北田より十八里
事流車を
うら四方

大曾根より大坊より延びわが
うらうら

大坊村 石下村のち坊の
近なり

東弘寺

東流車を
北をのりて

玉川

ありい難し

△^三 結城 水野日向子屋敷下

北にやま才三番 西にふらり
七リ 赤上寺 赤上寺

△^七 宇業宮 ね平より屋敷下

才三寺のまね 西流
初也寺 本寺七番

安養長馬 西流

近んまのいさろのり

日光の東條をいさろのり
なつらるるハ王ヤハ
ハつたるんハ王ヤハ
日光ハつたるんハ王ヤハ

△^ニ 徳次郎

△^ニ 大沢

△^ニ 今市

日光

持沢孫の宮寺 鎌倉
三品 徳次郎 入江 大塚 兼盛 大塚 兼盛

△^ニ 今市

日光ハつたるんハ王ヤハ
ハ板橋 出麻沼 寺 寺

△^ニ 板橋

△^ニ 文校

△^ニ 麻沼

△^ニ あり

△大沢

△今市

△日光

持沢藤山宮寺藤山宮寺藤山宮寺
三品三品終終了了入入口口大大指指糸糸塗塗のの糸糸糸糸

△今市

日光分日光分所所ををととららるる室室八八條條のの中中
板板橋橋のの麻麻沼沼ををととららるる室室八八條條のの中中

△板橋

いろり

△文枝

△麻沼

△あ

三ツ
△主生

二ツ
△室乃八徳

大野村の社あり
種宮あり

また
死見う忌 月しく山吹

紀勢此乃山吹

二ツ
△飯田 田見海乃乃

一ツ
△小山 徳さやかく社あり
仙を海乃乃

一ツ
△中田

一ツ
△佐野村

法徳寺

聖人の説く

△古川 城を本と申す
北四家あり

宗願寺 西流

二ツ
△磯部村

勝光寺 東流余る

御所の並才了長社所
少事のかくいあり
新地、およそ
あれが死すといふ

志う村 くらう村

山田村

二ツ
△恩久村

いそれ者飯沼とて
おやうの内へ

新田二万石なり。あまのついで
新田に長七里なり。なるべし
こゝに村 村費村

三

新地村

弘徳寺

東流山を七里八里
北に宗才入道

村長村

馬場新田

又山新田

三
二

金持村

又高山願牛寺

山を費
宗才西流

寺を再建之。馬持山に
地を連糸織之。地を
係山間山小寺を
一層修之。二二下修之

三

飯沼村

天神宮

社傳美を宗
大生寺

けり。より後。宗法。恩。ち。毎年
正月二日は。經二奉。つ。上。様。多
い。山。う。た。り。る。と。り

三
二

横曽根村

岡光寺

市を九
八

法多。教。恩。ち。乃。り。か。り。あ。く
山。を。た。り。の。五。五。五。五。五。五

大野村

乃。三。部。あり。中。の
と。ち。と。や

角山村

三ッ
色田村

西念寺

東流寺を九里で
七つあるが二十九

檀師の遺才自其妙法の道
は北四里の外に

阿彌陀寺

聖人の跡は乃
少報あり

一ッ
二ッ
三ッ
村

妙安寺

東方内保一里の
八里あるが妙安寺

二十四葉才成法坊の
まじりあり

大ッ
一ッ
乃
谷村

妙安寺 末流

いろえの西福寺と云ふ妙安寺
妙安寺と云ふ先元大寺の末

二ッ
又村

乃谷川に流

仁田村

中戸村

常敬寺

西流寺を二里
余にあり

檀師の跡唯若山坊乃と云ふ
ありた四葉乃の外に

起世乃弥陀寺は縁ゆよと云ふ
向合子と云ふ少葉の末を作

宝珠花村

江戸川

船りし

魚ねる村

右川

船りし

大戸村

新新田村

リ 松久村

やうに松村より北
と江戸海をく
まらうし川村にあり
いりこ入

リ 下川村

四下 木賣村

西光院 長吉宗

此寺は乃の松林内外を有
石洞でよく深也

○孫田村の住するところを聖人
は自作五才乃の木賣村あり

未訪をわく六木賣村より
今所ニリ今所より孫田

ニリ孫田より江戸海を
ニリあり

リ 糸村 船りし有

リ 板戸村

一リ六下 奥の海を寄る千の江戸
日本橋とニリあり

浅草

高龍山報恩寺 永流院家
五世才一

祖師の寺と云ふは自作の
山本像あり

麻布

龜子山長福寺 西風 院家

祖師の寺才の海坊まで
あり二十四才乃の外之

聖人此社にあり乃木有いふ
其制殊較はるあり而相

のり日平後より

△^{ニリ}平川

△^{ニリ}川崎

△^{ニリ}かふ川

△^{ニリ}やぶ川

新所たまは若くは村
にリカ又は山にツク
弘徳寺 西流寺
弘徳寺乃別名と云ふ
をとりて孫金海と云ふ
まこと孫金海と云ふ
弘徳寺乃別名と云ふ

弘徳寺

金沢 八系乃地

称名寺 津古寺

いさ西石八系と云ふ
有外乃系も云ふ

△^{ニリ}孫金寺

野崎村

横砂村

大津村

浦加

野日村

五明山

西流寺

津古寺

弘徳寺

二行
こやほる村
ゆえ防乃母ハ我れのみ女
おれとの西人等とて

三行
平作村
系やま

山口村

二行
鎌倉

荏柄天神

宝也 南天海本自在天神

藤波丸六太公

徐伽倫二太公 荻原守

そ介空也いろく

縁とろくを承古縁ハ別死ニ

物ハ縁ハ思之

高田八幡宮
おれや
藤原

光明寺
松園

長谷寺
日ら上人
おらら

建長寺

三行
倉田村
そ介空也いろく
おれや
藤原

外龍寺水勝寺

東流

おらら

いさハ祖師 碧山遠西の寺
と宝物

面掛如來 東人山作

三行
面ハま日明神正作

山下
東海平作大破り
おらら

善福寺

東流

おらら

龍虎山華水院

東山六老僧才二名流法華寺
奉する 石を人作
石を人作本縁山自作正四筆
乃外之石を人作進道の地をとも

△大磯

東海より取く

△國府は村

去樂寺

東流

石を人作進道の地をとも
祖師石より九字十字字乃
名多あり

國府は村より進道の地をとも

二里あり

△小田原

傾下村

長福寺

西流

石を人作進道の地をとも
嫡流山下長福寺の別々
二十四筆乃外ありまこ
小田原のゆり

△小田原

板橋村

風系

あり

入宇田 山崎村

三枚橋

石を人作進道の地をとも

○陽平

あり 寸もは日

○島

日 老う平

箱根権現 在るなり

金剛王院

いづこに在る人之日沙達を
あこ人の本像を寺に置置作
坊中六ヶ寺に在る二百石

御園取 子飛上

△箱根

甲石坂。山中村

。笹原村 三ツ石

。ほう原

ニリ九ヶ

△三嶋 甲原の山四段と事柄する
よけいあり入り

ニリお 二嶋明神社

ニリお 中丸村

ニリお 中山村

いづこに在る人之日沙達を
あこ人の本像を寺に置置作
坊中六ヶ寺に在る二百石

次走

すむらうらふ富士山の東の麓に
所を寺に置置作
坊中六ヶ寺に在る二百石

吉田

いづこに在る人之日沙達を
あこ人の本像を寺に置置作
坊中六ヶ寺に在る二百石

小乃波村

ニリホ 二徳明神社

ニリホ 中ノ丸村

ニリホ 中山村

けりまふくしはくもて改有すま

四リ 下ノ丸茶やは原を焼所ら給ふ

次走

すむらうと富士ふり東の極無
所金さす富士ふり山師之富士
六月未訪の者いふに海りま
のちの後る程尻社者

三リ 吉田

けりま富士ふり山の極無之甲良口之毛
も富士ふり山の極無社者大程

三リ 小乃波村

二 谷村 谷村 延白物ありては福同を首
銅金と成るなりと云

三 美本村

善福寺

二 原町 けさより白野乃念仏塚
再無らぬ

三 原町

たより石解あり致書上人
念仏塚あり

さうご村

二 三ご村

三 善好村

二 駒飼村

二 釣瀬村 山田園あり

二 横瀬村

二 等力村

二 万福寺 西流
山を七と云ふ事

高寺の園東に老僧才四あり
と云ふ石ありと云ふ人山善好寺
しが燈火と云ふなり

等力村大徳寺を名たりと云ふ
但原山ありと云ふなりと云ふ
ありと云ふと云ふ

二 一万福寺 等力乃
わねん

二 三ご原

二 三ご中

甲斐 善光寺 後之村に有

三月廿一日

地蔵仏あり

善光寺 東山所

一切経あり

四リ 軟沃

おらび村 西修村

子打飯

ニリキ 切石

四日市場村 いふぬ村

大村 子川

三十一 下山村 下山山奥院にあり

身延山奥院

祖師堂 法苑宗の祖本と云

身延 久遠寺 法苑宗の本

西軟地を 中祖師を 東位階を

身延町 藤懸門洞會所

三リ 南郡

あし川 古橋あり

三リ 万石 万石松野ハ村奥に 石あり

龜割坂 退方村

ニリ さくら川

ニリ 完原

ニリ 小河内 小河内と奥はり
さくら川あり

ニリ 奥津 奥津より取
来海より取

信覺寺 信覺寺の地
寺あり

一里山 一里山

ニリ 江尻

岩原村 岩原村

小倉田村 粟束村

古庄村 古庄村

ニリ 庵中

とろく 蛸名あり

安部川 安部川

子越村 子越村

ニリ 丸子

宇波乃谷 宇波乃谷

宇波乃谷の谷作
在りあり

ニリ 横森村

ニリ 忌部

八幡村 八幡村

△^{ニリ}府中

。とろく

地名あり

安部川

あり

子越村

△^{ニリ}丸子

。宇津乃谷

とろく
名あり

宇津の谷作
右乃方
地をあり

△^{ニリ}横森村

△^{ニリ}長部

八坂村

横内村

あり

。水守村

可井平
△茂枝 城 本名松巻也

蓮生寺 末流

此寺乃中緒元極寺
くり

瀬戸川 麓 志道村

水乃上村 瀬戸川

。三軒至 志道山村

可井平
△鶴田

向鶴村

大井川 志道村乃法入
水上住民志道也

八百五町

△全谷

牧原村 牧原城跡在乃志
尺中

。兼川村 兼川橋あり
名あり

。依坂中山 名あり

。新茶屋

可井平下
△日坂

官村 志道八幡社あり
山本平一町名

塩井川村 志道金持記在
川乃中上流也

大井川村。山花村

成瀬村

一リ世九下
△掛川

城之高掛はちや

福田山度もろ

山をさるる者
東にちみちる

いそむ者孫系に福田村よ
ありし時屋人園ありあの
ざりしは山腰かへりし
寺傍を人入山動化と云ふ
別山ありと云ふは存いし人
後時室を屋人山系阿山院
是如上人山系光ぬ子蓮も
織物化銀鏡乃山んす者

二瀬川村

名系 古橋者

大池村

カリと村

原川村

名系 古橋者

ふらり村

名系 古橋者

久保新村

のち村

△袋井

本原村。西橋村

二番野村

修あり
名系

久久保村

△見附

又身は池田村、新末のり
今も諸人をあそびん

中家村。久宗院村

長森村。池田村

名系 古橋者

天龍川 和わさ

中乃西村。安岡村

橋場村。天神西村

濱松 城之松平富之助と云ふ

普法山長云寺 東流

此の山を人國宗の山と云ふの山腰
柳の邊に菩提の石ありては法用寺

美林村 志塚村

。松條原村

。蘇坂 往昔の蘇坂といふ

海上 船渡一程三百五十文船の蘇井
蘇坂をさしてこの蘇石を

御園取 吉田城と云ふ

。荒井

橋幸村 わさて村

。元白砂が 塩又坂 名不

白須が

猿ヶ澤 かしのり

境川 名不のり

。一里塚

。二川

。夕暮村

長田

城を平伊守守
七万石

沙掛取

東流
中土五里方

下地村

よへ至

小坂井村

系至町

櫻町

國府

沖油

赤坂

長谷村。宝養寺村

宝養寺ハ東照社所ヨリ
是社所ニ在リ

元宮村

山中村

三九一
長川

かんた橋

生田村

平地村

光顔寺

西流所
寺を九里四方

大平村

大平川に在り

如志寺 亦念山
如志寺ハ大平川に在り
亦念山ハ大平川に在り

如意寺

亦念山

同寺ハ同所ニ在リ
大妻ハ二十四里に在り

つりま
長海

水野織姫

十五町柳

西照寺

東流
寺に七の四

文作橋

二の四

せきこのり四柳

勝蓮寺

東流寺
七の四

宝地
入る人六の四

末子村

院法石

明眼寺

三の四
十の四

聖人
本像
寺に
自作

上官寺

東流寺
寺に

修
本村
一
計
勝
曼
寺

勝曼寺

東流院家

計
勝
曼
寺

中の口村

淨妙寺

東流院家
同
寺
聖
人
の
子

本證寺

東流院家
寺に

同
寺
聖
人
の
子
に
七
の
四
に
寺
に
七
の
四
に
寺
に

少保寺村
保之丸村

東畑村

西畑村

愈仁寺

西流
在
寺
に

寺
に
七
の
四
に

蓮
師
の
自
畫
乃
像

愈
仁
寺
の
蓮
師
の
自
畫
乃
像

二
年
の
遠
近
寺
に
勝
蓮
寺

ふさきいあしりまねい
此裡相宗のよする下に今相と
あし身ぶらふ多しつゝまはり
野ふとらて野寺村のり有い
五三のりもあぶしあてはり

今村

身起り此寺の僧人

けり此は今村氏家今名より此裡の
おと女寺しよといはれ名を法入あて
お人柳をて追而一法い今相
くいおまを起り寺あまう子法
しと信ふしう道所いあしり経
はるといあしり中とていあしり
あげまは切殺しうけい今相
まあして四身おまをけい今相
切りりあまはけい今相
とてい今相はけい今相

今村が二り

ふるみ

笠寺

大乃方笠寺
おあり

二り
宮

あつとら社
お社

二り
名古巻

東沙坊

山を十二
十二

西沙坊

山を十二
十二

操井所

圓通寺

山を
九

七寶山聖徳寺

山を十
十

宝地有人乃新境
山を
山を
山を

新後寺村 中下海老を分入
に遠及

松原系後寺 小田流系系

高島流古系系人型人小田流系
高島流古系系人型人小田流系
高島流古系系人型人小田流系
高島流古系系人型人小田流系
高島流古系系人型人小田流系
高島流古系系人型人小田流系
高島流古系系人型人小田流系
高島流古系系人型人小田流系
高島流古系系人型人小田流系
高島流古系系人型人小田流系

小田井村

西方寺 東流系を六万

高島流古系系人型人小田流系
高島流古系系人型人小田流系
高島流古系系人型人小田流系
高島流古系系人型人小田流系
高島流古系系人型人小田流系
高島流古系系人型人小田流系
高島流古系系人型人小田流系
高島流古系系人型人小田流系
高島流古系系人型人小田流系
高島流古系系人型人小田流系

北下系 高島流古系系人型人小田流系

福葉

秋系

一リ 越前を分入
十リ 越前を分入
竹 白根 仰

東坊 西岸を分入

足を村西方系系流すりハ
竹鼻より南を分入一里ハ
足を村西方系系流すりハ
竹鼻より南を分入一里ハ
足を村西方系系流すりハ
竹鼻より南を分入一里ハ

雲役川 紅

一リ 雲役 所分を分入

満福寺 東流

一リ 天垣 城を分入

けりやまのたき... 瀬川の堤より分れて北に下余あり

水原寺

寺領あり
七つにやふ

宝物 祖師の自筆あり

又換り

二ツ
垣田村 五ツ野原

△^{二ツ}壘井

○野上

聖母堂あり

一ツ

△園原

長濱沙坊へうんけり
らるわらふけいともろくわ田
海をわらへり

不破 多摩川

水原全り

山 さか

石田村

△今次

平井のむらさき
あのかんまらあり
平井村

七条村

長濱

祖師堂あり

沙坊は連在

宮殿切縁

一英はまの
塔あり

△^{一ツ}柏原

わらわら村

長をぬかき長く
陸代も水法も四
リ有れよ八松町
宗一殿あり
湖より石田を
竹槍陣乃徳あり
若原ハハらの
入り

△^{一リ}醒る井

あまのつる日守草
はらう掛石あり

花根乃城乃
東乃

石井村

山石田は総か
が城乃わとる
かすく西乃

むくら村

くこよ葉林の
あひいふ乃

多る村

ハ信長公城
乃わし安土

△^{一リ}中表場

花根

まらとん

ひと林しり

△^{一リ}多るを

とつふあ

地蔵村

是金堂の社一
りまの出入世

△^{一リ}高宮

所中に多賀社
をみあり

はら所 出所

四十九院

茶をわり

唯今多しつよ有東流は山
よわど教如く人のたまの

石昌村 枝村

△^{ニリ}愛知川

宝満寺

東流
はまき

小幡村 所登村

老宿村

長わりの茶

あしやう村

△^{ニリ}武佐

野寺村 馬淵村

位蓮坊墓下
田ノ中よのり

横関村

△^{ニリ}かづん

い宿よりニリ徑初ては原原乃
りよよ未終の石碕者ニ丁有

長原町村

本郷村

錦織寺 山を九るする

お寺より麓浦か上りハわき
も長一尺ハ石壁ハくは川原

お新村より今もつたあはれ
一リ寺やど有をまきハ久を
出たは、松のまバ格別を
守ふ、つらまハ甲申丁有

金ヶ森 山坊

吾龍寺 寺を二つ
ハガ

石赤坊乃ま踏ん
金ヶ森よりまふハ丁あり

△^{カズノニリ}守山

綾村 忍川村

△^{ニリ}草は

勢ノ田 長くハ集のつては
しるを、おするあり

膳取 山城

△大津

三井寺 五丁

東坊

近松坊

。園乃清水。走井

。遊方 京師人、遊方之

。どろろと茶を

合石研わり

山科坊 西東坊よりあり

蓮如上人の墓所、永らく寺有

いしころりたる谷、之より

二条、新又二条、四く、一の

江戸から四葉、赤詣

江戸の路

浅草、篠田、本賣

中戸、一乃若、三村

長次、色田、狭野根

倉持、新地、結城

多田、下妻、石下

大草根、筑波、柿岡

大草堂、板倉、福田

完戸、子以、富田

右乃乃村々はいおよま遠江府

送り守野よ子はく教ふは

富田の口之川橋と云ふり

船を麻島はらばよと云

又羽生と云ふは舟の船

麻島はらと教ふ先は風

悪貴又宗合をよつら

て強はするは富田の島

子田の船舟乃都合は

船よ宗又悪貴の麻島

多葉 赤嶋 經松

湊 水戸 坂戸 水戸 生所

河留 大部 松原

額田 川合 谷川原

久保 東邊 石以

大畑 龍子 鳥山

竹部 全次 棚倉

日笠 宇保宮 室八傳

花見巻 佐野 古川

磯部 中田 出江 戸

石乃乃 村乃 法いおよ 邊江

邊子 宇野 子 法いおよ 邊江

小富田 村乃 法いおよ 邊江

船取 麻島 法いおよ 邊江

又羽生 法いおよ 邊江

麻島 法いおよ 邊江

要費 法いおよ 邊江

子田 法いおよ 邊江

船小 法いおよ 邊江

物いさくし一松一櫻信り印もよ
羽生より麻布とよするも掛

柳倉の日光の法

柳倉ニリ金山ニリとよ岩ニリ

あはニリ依六ニリ大田原ニリ

は村ニリ吉成ニリ玄ニリ

不入ニリ大後ニリ今市ニリ

日光山ニリ

まより今市とまどろ
宇はえん法あり
は戸かろるまかぬま
海もあり

右市四跡二十四筆順路

其取主村にたし

委々々々々々々々々々

は舟之考今々次才せ

そのくまへまもしもの

あきがしもすしくお物

くまよ異々此記おて

あ時おかしもあつら

ふし道は乃事定ら

宿驛ハ格別ハ里村

秋のての具一取そそり
二里のりとしふ人のまじり
里のまじりまののふり
すしげり多し
叔又取そそり
物流るるのれ
事繁るるまじり
を因り地名事跡一果の
聞誤るるあまげ
乃人の改正とゆるも也

遠州掛川

江玉堂楓司述

寶曆五年乙未歲

二月上旬始

七月五月下旬より終

増田北驛

庄子屋

代山

故子由是... 道法... ありと記す

寶曆十一年庚辰年九月廿四日

京都書肆

寺町西条屋

京都書肆

より廿や乃八



止四輩記圖 一枚摺出来

同巡道記 一冊 出来

本八傳四波江戸より号乃八

信... 観... 尊... 親...

庄司屋

代山



